

①市街地モデル(桑名プロジェクト検討会)

■地域の概要

- 「陽だまりの丘」地区は、桑名市総合計画2007-2016において、住居ゾーンに位置づけられ、快適な住居環境づくりを進め、商業施設の誘致・コミュニティ活動の拠点・医療/福祉サービスの提供・質の高い教育環境の整備など、施設だけでなくソフト面からも居住環境の向上を図る地区として位置づけられています。



地域住民が必要としている主な情報サービスニーズ(想定)	
安心・安全	子育て
医療	防災・災害対策
省エネ・再エネ	交通・物流
教育・文化・趣味	見守り・介護
コミュニティ	

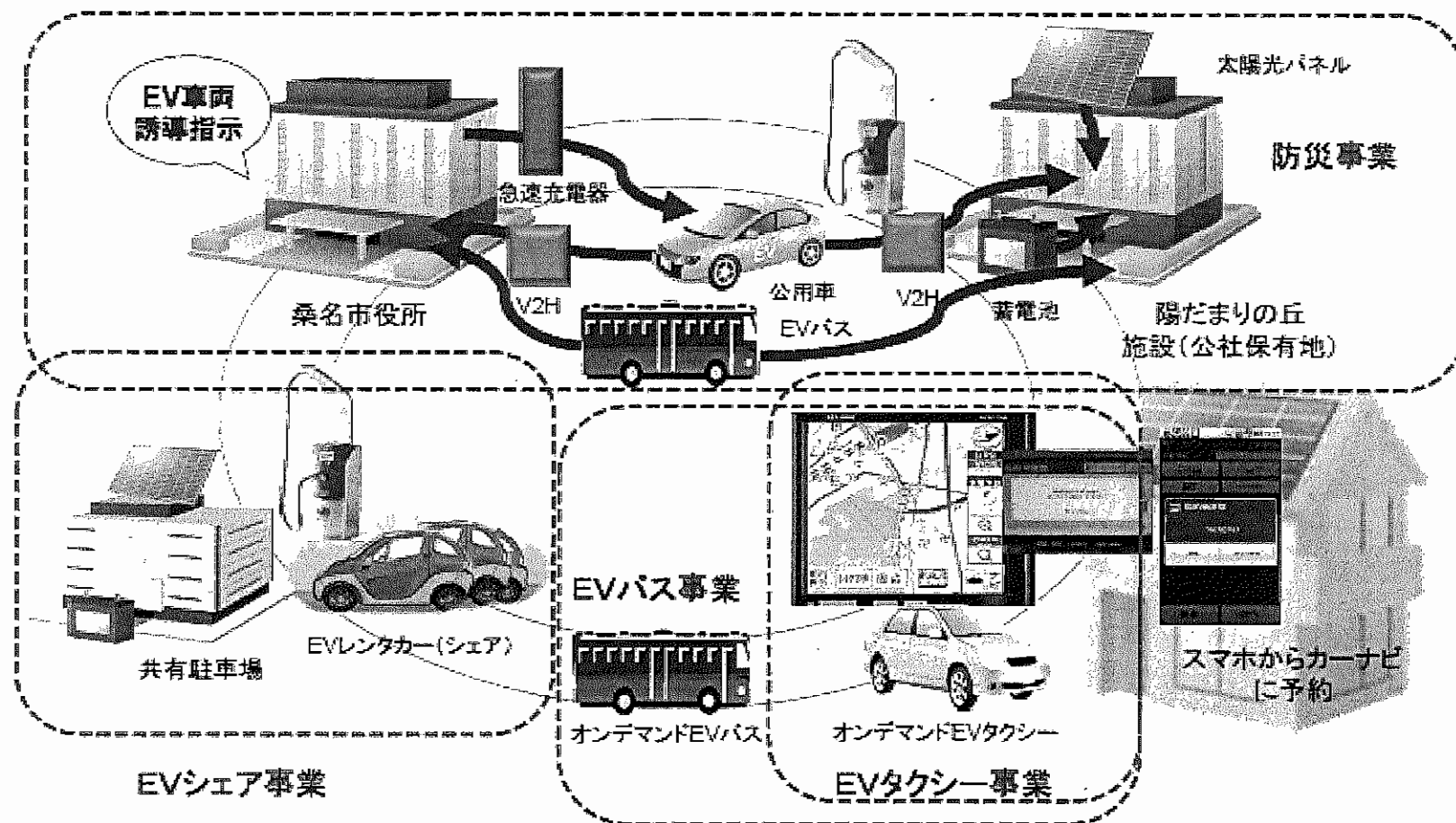
※居住年数10年未満の新住民がほとんどであり、30代~40代の居住者が大部分を占めるので、多様なサービスを受け入れられる可能性が高いと想定しました。

事業名称	桑名都市計画事業播磨特定土地区画整理事業
施行面積	約156.0ha
供給施設	上下水道:桑名市 電気:中部電力(株) ガス:東邦ガス(株)
予定人口	人口:約10,000人 戸数:約2,940戸

※入居者は計画の60%~70%であり、人口は2011年度末で、3,300人である。ハウスメーカーは、トヨタ・ミサワ・セキスイ・ダイワ・住友林業・サンヨー

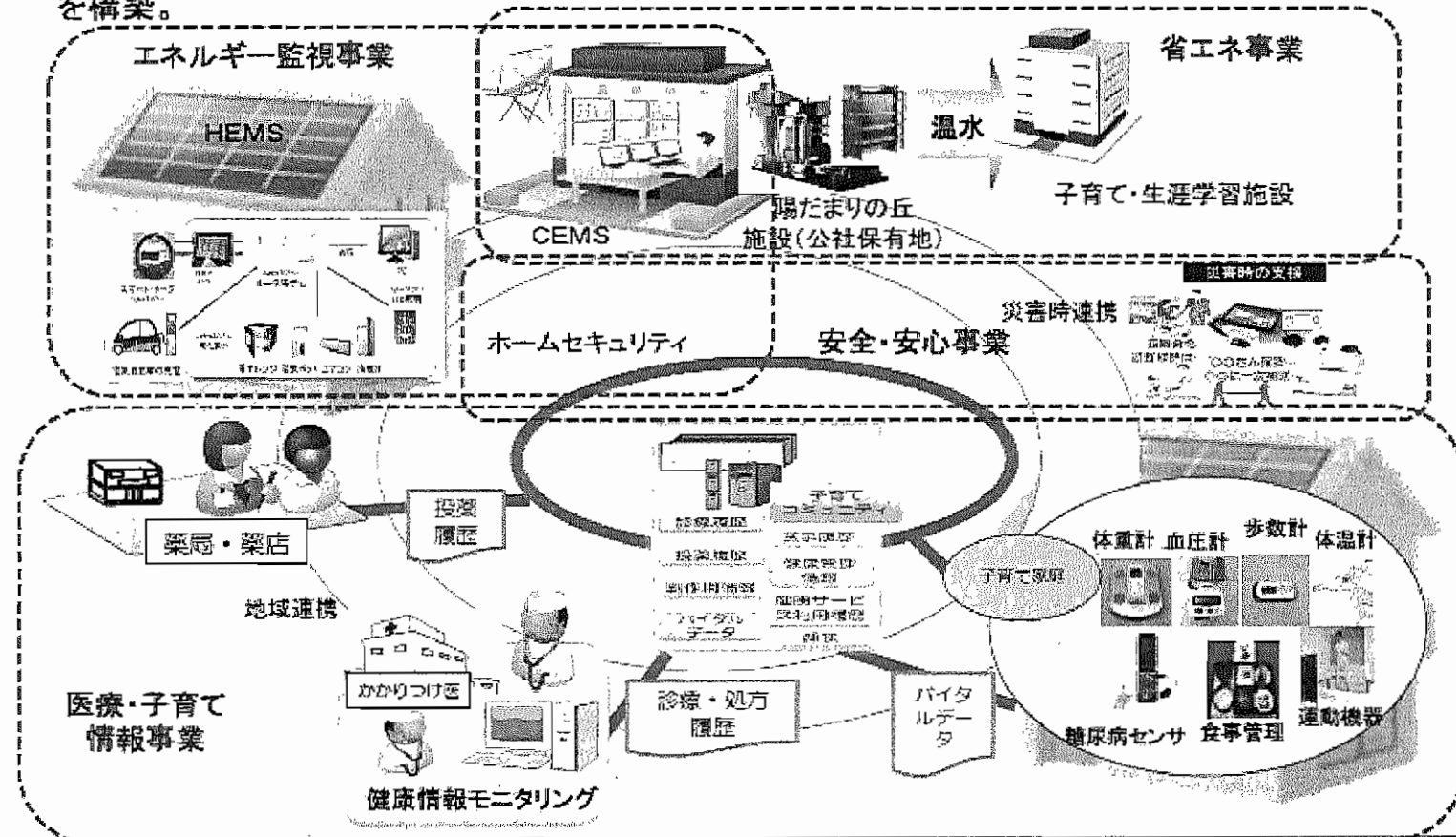
■モデルイメージ EV活用のしくみ

- EV車両のシェア事業、タクシー会社、桑名市バス事業によるオンデマンドエコ交通サービスモデルを構築します。
- 桑名市の公用車をEV化し、非常時には公用車を活用した電源供給の仕組みを構築します。



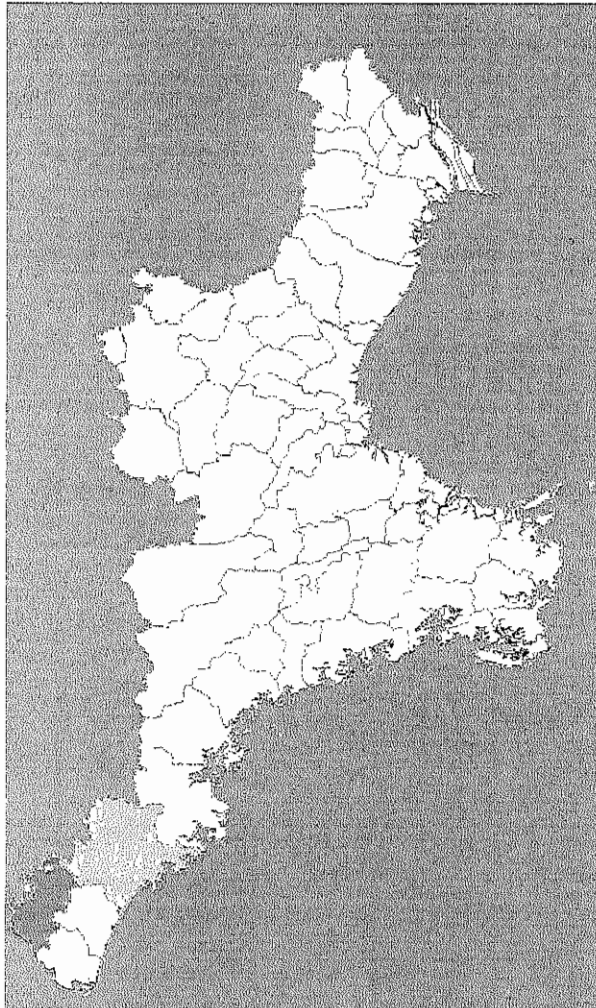
■モデルイメージ エネルギーマネジメントシステム(EMS)活用

- 病院等に行かなくても、自宅で健康状態を管理してくれるサービスモデル、子育て施設と連携した、子育てコミュニティの構築。
- 住居等へのエネルギーマネジメントシステムの導入・運用によるエネルギーの効率的運用を構築。



②中山間部モデル(熊野プロジェクト検討会)

■地域の概要

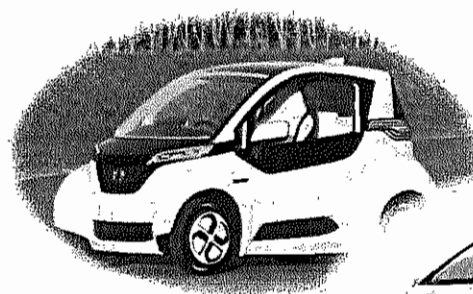
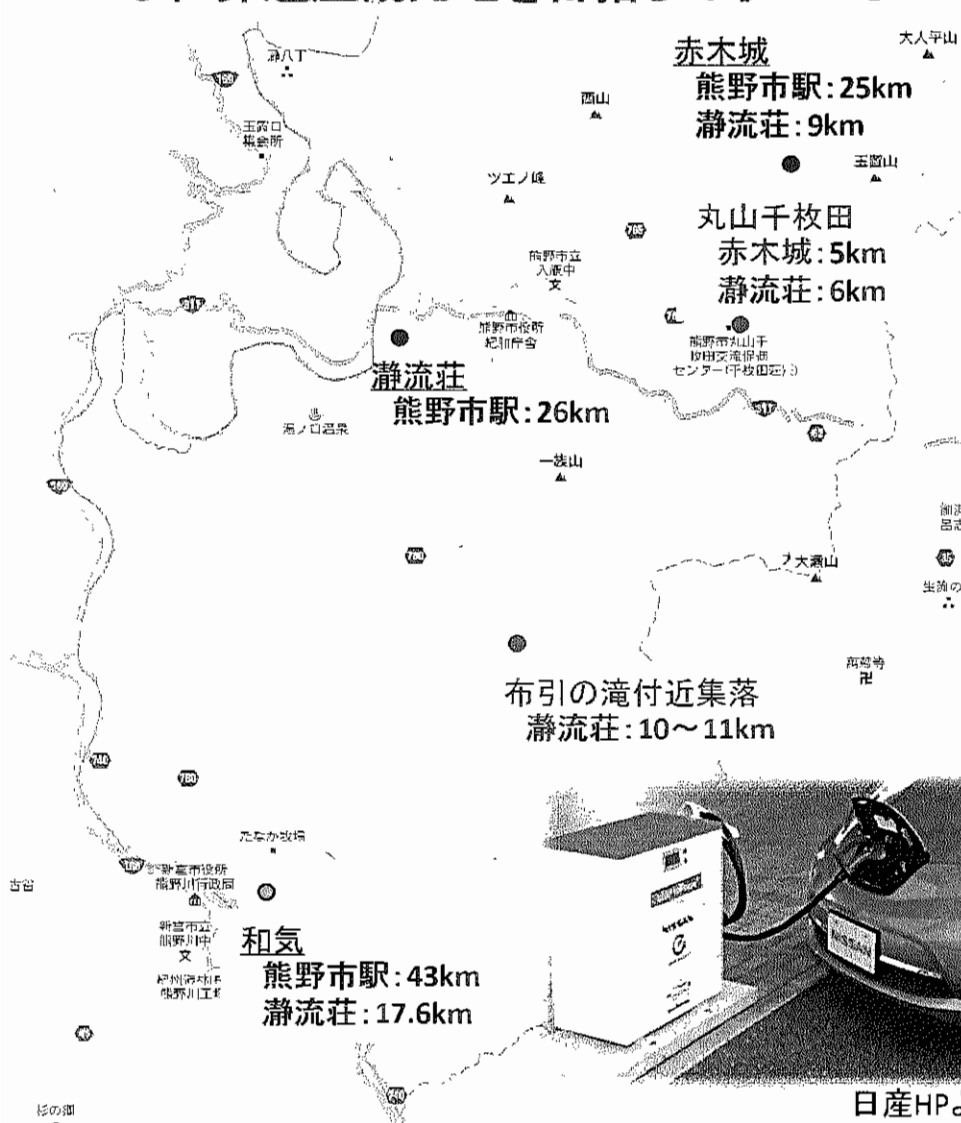


熊野市紀和町の概要

- 65才以上人口が54.5%と高齢化の著しい地区である。
- 合併以前より、特産品づくりに注力して雇用機会の創出に取り組んできた(紀和町ふるさと公社)。
- 世界遺産と自然環境、温泉等の多様な資源を活かした観光振興、都市との交流が課題となっている。
- 旧町有林(現市有林)をはじめ、森林資源の活用も課題。
- 2011年の豪雨で被害を受けており、特に南西部の熊野川沿いの地区(上川地区)の被害は甚大であった。

■モデルイメージ EVレンタカーの導入案

エコな世界遺産観光地を目指して！



ホンダHPより



ホンダ	フィットEV:	225km (20.0kWh)
	超小型EV	60km (— — —)
日産	リーフ:	200km (24.0kWh)
トヨタ	eQ:	100km (12.0kWh)
三菱	i-MiEV G:	180km (16.0kWh)

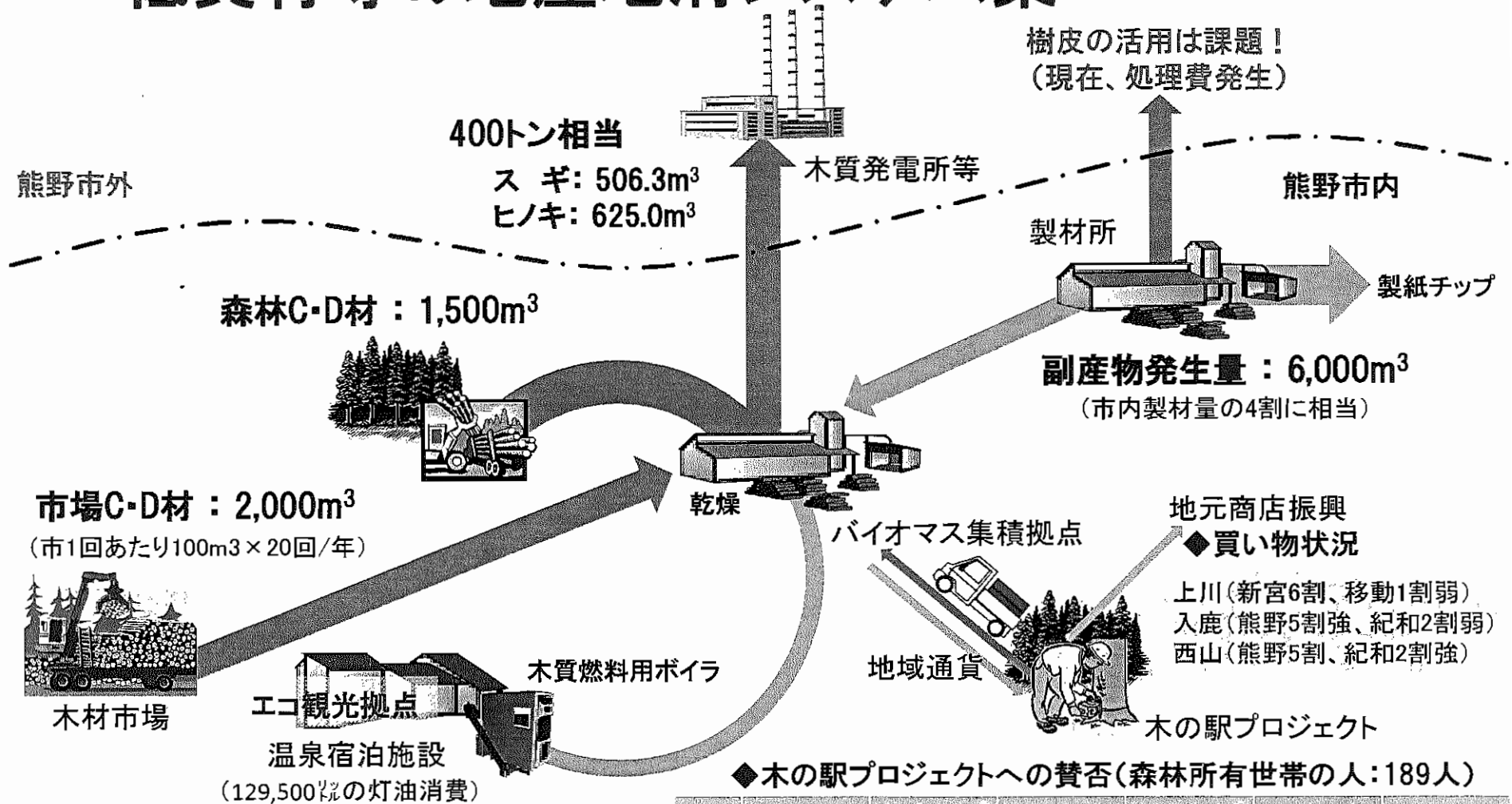
街を出る時点でフル充電ならば...

- ✓ 超小型車以外なら、ほぼ主要観光ポイントを回ることができそう。
- ✓ 家庭用充放電システムがあれば、電池切れの心配は解消される。
- ✓ 常時フル充電でなくとも良いので、紀和町内には、家庭用充電設備があればよい。



日産HPより

■モデルイメージ 低質材等の地産地消システム案



樹皮の活用は課題！
(現在、処理費発生)

針葉樹：802.8m³ ※スギ:ヒノキ=4:6として

スギ：281.5m³ (生木222.4トン)

ヒノキ：521.3m³ (生木333.6トン)

◆木の駅プロジェクトへの賛否(森林所有世帯の人:189人)

	賛成	どちらかと言え ば賛成	どちらともい えない	どちらかと言 えれば反対	反対	不明
上川	41.4%	6.9%	41.4%	0.0%	3.4%	6.9%
入鹿	49.2%	14.2%	31.7%	2.5%	0.8%	1.7%
西山	50.0%	20.0%	25.0%	2.5%	0.0%	2.5%

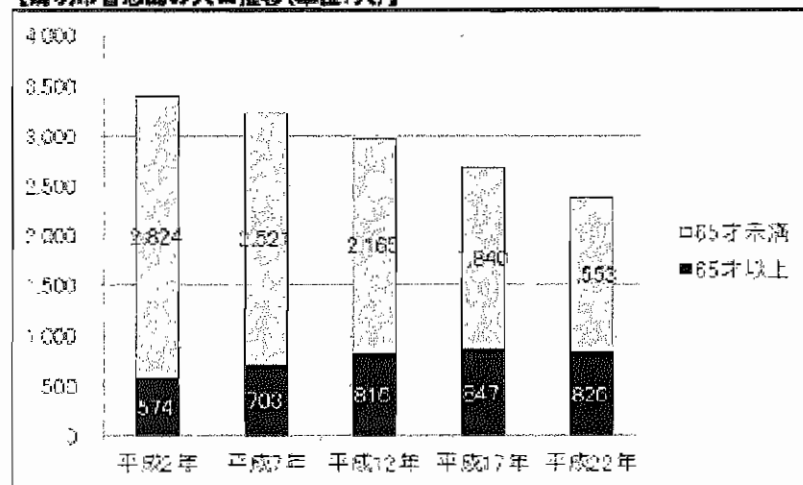
③沿岸部モデル(スマートアイランドプロジェクト検討会)

■地域の概要

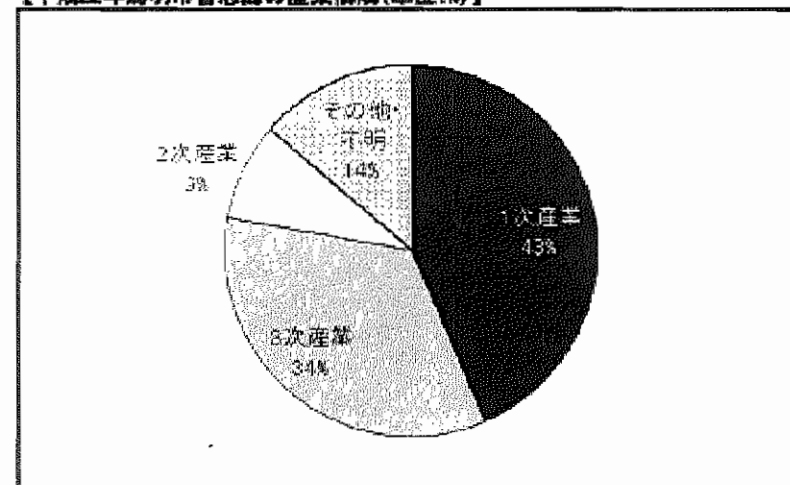
- ・鳥羽港の北東約2.5kmに位置する鳥羽市最大の島(総面積6.98Km²)
- ・答志(とうし)、答志和具(とうしわく)、桃取(ももとり)の3集落がある。
- ・島の80%は自然林が占める、島中央には標高100m以上の山もあり高低差がある。
- ・本土からの定期船所要時間は最長約12分程度と本土とのアクセスは比較的近い。
(10本/日運行)
- ・人口規模は、2,379人。高齢者比率は34.7%であり高齢化が進行。(平成22年)
- ・寝屋子制度(※注1)の文化があり、地域ぐるみで子育て支援の取り組みを行っているためか、日本の他の島嶼地域よりも比較的小児の数も多く、活気がある点が特徴的。
- ・産業としては、漁業や旅館等の観光関連が多くを占める。(平成21年観光客数は年間175,800人)
- ・細い路地が多く、路地裏散策等も人気。主な産品としては、のり、わかめの他、伊勢湾の新鮮な魚貝類が豊富に獲れる。



【鳥羽市答志島の人口推移(単位:人)】



【平成22年鳥羽市答志島の産業構成(単位:%)】



※注1:一定年齢に達した男子を世話役の大人が預かって面倒を見る制度。鳥羽市無形民俗文化財に指定されている

出典:鳥羽市資料、鳥羽市HP等を元に作成

■モデルイメージ

スマートアイランド化による島のブランド強化



植物資源から燃料へ
緑のめぐみを
有効活用しています。

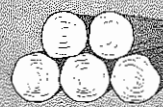
松阪木質バイオマス熱利用協同組合

木質バイオマス熱利用事業の概要

事業目的

本事業は、林業・木材産業構造改革国庫補助事業（平成19年度：林野庁）として実施し、林業事業から発生する間伐材、林地残材、木材加工端材、パーク等や木質建築廃材等を燃料として蒸気を生産し、組合員である辻製油（株）等に蒸気を販売する事業で、①継続的な森林管理「緑の循環」を支えるシステムの構築。②木材産業の活性化。③循環型社会の形成。④地球温暖化の防止。を目的としています。

事業内容



間伐材



林地残材

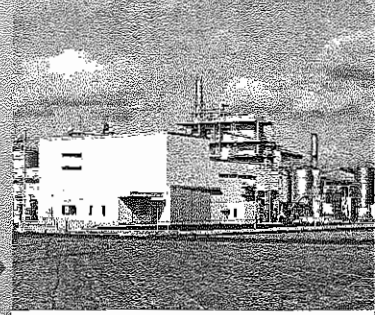


建築廃材



ウッドピア木質バイオマス
利用協同組合

破碎施設
平成18年度事業



松阪木質バイオマス
熱利用協同組合

バイオマスボイラー施設
平成19年度事業

木質チップ

辻製油株式会社



木質バイオマス熱供給設備概要

設置場所

松阪市嬉野新屋庄町字森目1252番地

完成年月日

平成21年1月17日

施設内容

① ボイラ

流動層ボイラ（施工：倉敷紡績株式会社）

② 規模

蒸気発生量：最大蒸発量 18.0t/H
（最大送気量 15.0t/H）
（常用送気量 12.5t/H）

最高使用圧力：1.57MPa

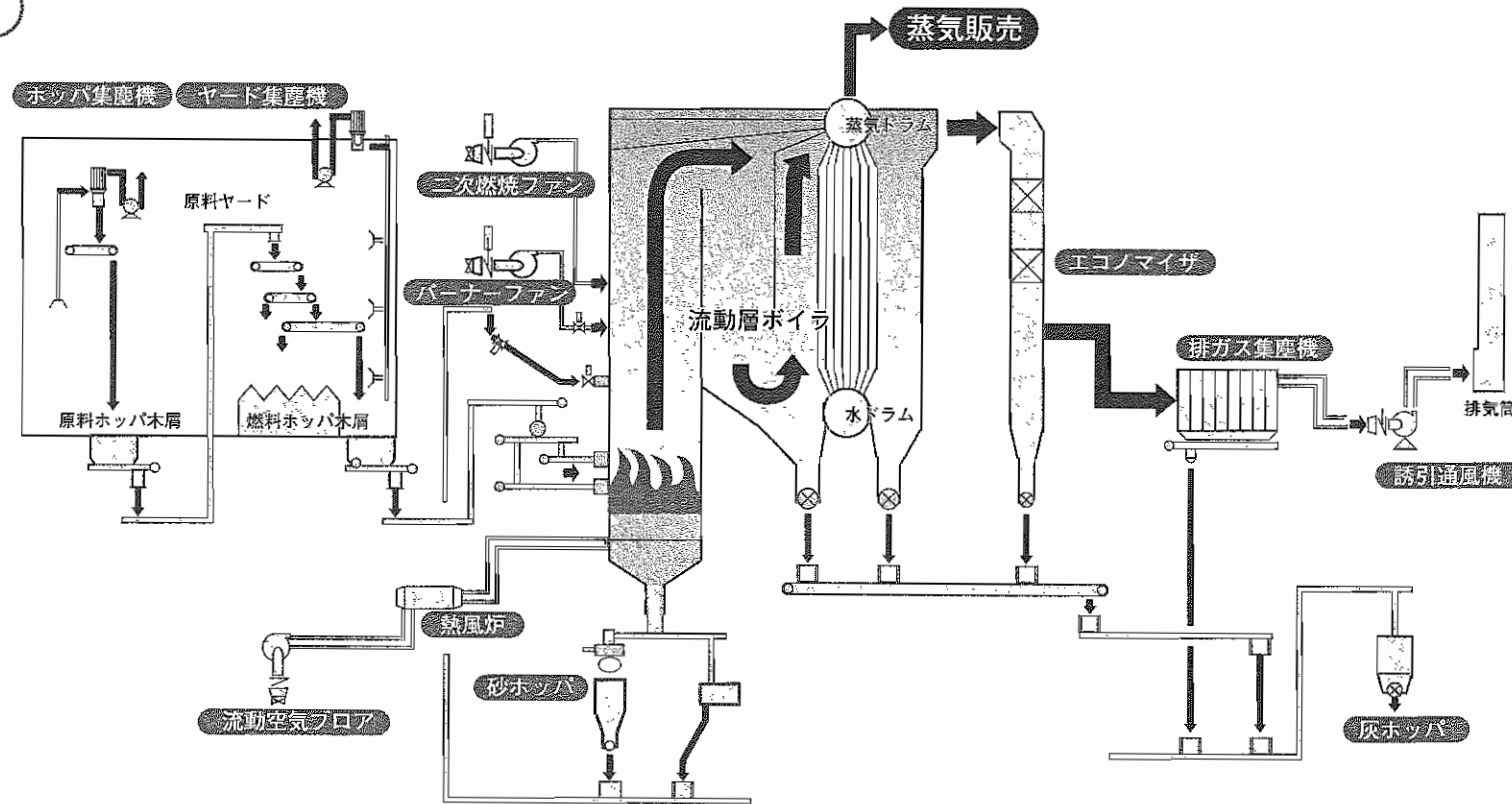
（常用圧力 0.98MPa）

燃焼量（木質チップ）：最大時 115t/日

（常用時 96t/日）

③ 稼働時間

24時間連続運転

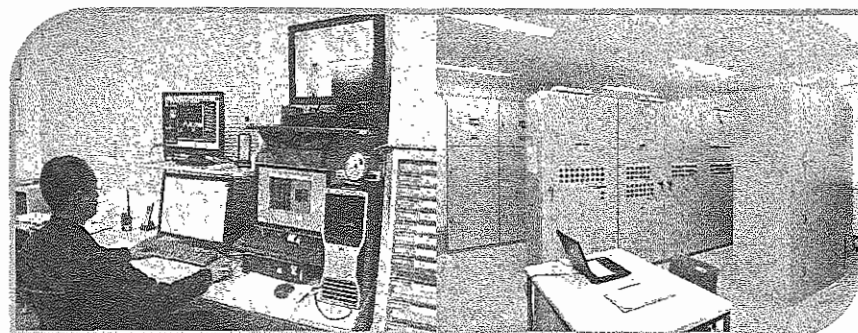


【流動層ボイラ】

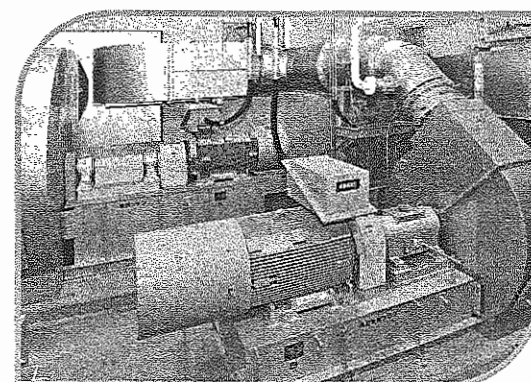
燃焼室下部の散気装置の上に砂の流動媒体を供給し、散気装置の空気の供給速度により、燃料と流動媒体を流動化状態で燃焼させます。



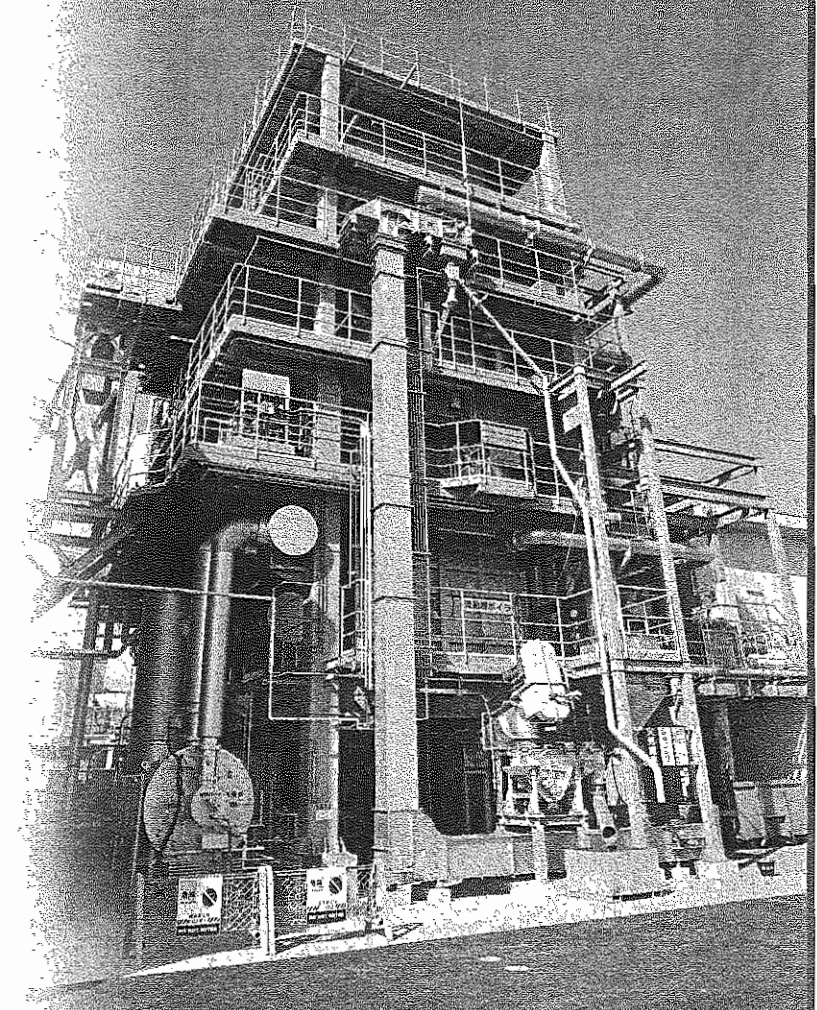
原料ヤード



中央制御室

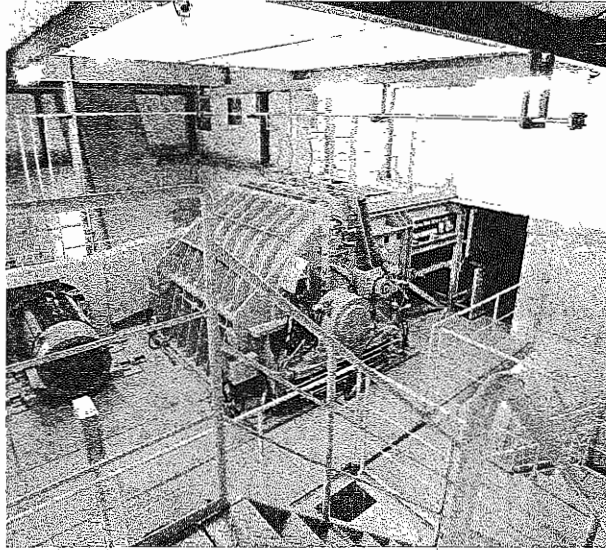


ブローア室



➡ 破碎機

能力：19.0t / H (高速回転ハンマー方式)



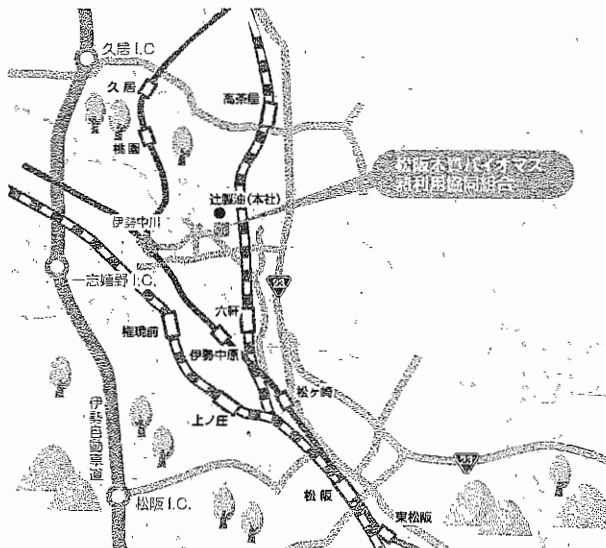
ウッドピア木質バイオマス利用協同組合

松阪市木の郷町16番地

TEL 0598-20-2588 FAX 0598-20-2589

➡ 松阪木質バイオマス熱利用協同組合 所在地

伊勢自動車道一志嬉野I.C.から約10分、近鉄伊勢中川駅から車で約8分



松阪木質バイオマス熱利用協同組合

松阪市嬉野新屋庄町字森目1252番地

TEL 0598-30-4811 FAX 0598-30-4812